

# WEST LIFE

## 校長の目

令和7年6月16日(月)

50<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY



先週、市内の硬筆審査会が行われました。本校からも、校内審査を通った各学年の秀作が審査にかけられ、たくさんの賞をいただいています。審査の結果については、7月の学校だより「西の明星」でお伝えいたします。授業における硬筆の取り組みが終わり、各学級の掲示板には、生徒の力作が展示されました。書いた時の緊張感が伝わってくるようです。ご来校の際は、ぜひご覧ください。



梅雨の時期になり、グラウンドコンディションが整わなかったり、反対に晴れると猛暑に悩まされて熱中症の危険性が出てくる時期になりました。そのため、しばらく体育の授業は室内運動を中心に行っていきます。2校時は、3年生の体育でしたが、1クラスは多目的室で柔道の授業でした。畳を敷いて、その上で行っていました。本時の目標は、正しい受け身の型を身に着けることです。座った状態や中腰の状態から真後ろに体を倒したり、横向きに倒れたりしながら、安全な受け身を学びます。ポイントは、倒れた時に腕でしっかり畳を叩くことです。こうすることで、倒れた時の衝撃を緩和させる（逃がす）ことができます。叩くときは、前腕と手のひら全体でバーン！と叩きます。



あとの2クラスは、体育館でバレーボールの授業を行っていました。ちょうど試合をしているところでした。バレーボールは、ネットでコートを仕切っているため、バスケットボールやサッカーと違って、相手との体の接触はありませんが、技能的には高いものが求められるスポーツです。ボールを落とさずに3回のタッチ以内に相手コートへボールを返さなければならないのは、練習を積んでいないとなかなかできるものではありません。そこで、少しルールを緩め、ワンバウンドも可にしています。こうすることで、ボールのつなぎが易くなり、また怖さも軽減されます。技能がそこまで高くなくても楽しめるため、バレーボールの魅力を味わうことができます。

